

新人柔道大会要項

- 1 大会名 第42回 筑前地区中学校新人柔道大会 第32回 筑前地区中学校新人女子柔道大会
- 2 期日 令和7年11月15日(土) 予備日 16日(日)
受付開始 8:10(役員集合 8:00) 審判会議 8:40
開始式 9:00 競技開始 9:10(開会式は実施しない)
- 3 会場 福岡武道館 (〒810-0052 福岡市中央区大濠1丁目1番1号 TEL 092-714-1900)
- 4 参加制限 各区から選出されたチームとする。
 - (1)男子は監督(教員・部活動指導員・チームスタッフ)1名、コーチ1名、選手7名以内とする。
女子は監督監督(教員・部活動指導員・チームスタッフ)1名、コーチ1名、選手4名以内とする。
監督・コーチは各チームよりそれぞれ1名とする。
 - (2)男女とも団体戦のみとする。女子団体戦はオープン参加とする。(16チームを超えないこととする。)
 - (3)監督・コーチの服装は審判員に準じる。
- 5 競技方法
 - (1)中学校における引率・監督は、出場校の校長・教員・部活動指導員とする。コーチについては出場校の教育職員(部活動指導員を含む)とする。但し、教育職員(部活動指導員を含む)以外のコーチは校長が認め、県中体連に登録し承認を受けたものとする。地域クラブ活動における引率・監督・コーチは、県中体連に登録し、承認を受けた責任ある代表者・指導者とする。
 - (2)男子団体戦は、参加16チームを4チームずつ4組に分け、各組でリーグ戦を行い、各組の上位2チーム(8校)によって決勝トーナメントを行なう。
 - (3)女子団体戦は、オープン参加とする。出場チームに変動があるため、各地区の順位を考慮して専門部において組み合わせを行なう。
 - (4)チーム間の勝敗は次のとおりとする。
 - ①勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ②①で同等の場合は、「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる勝者の多いチームを勝ちとする。
 - ③②で同等の場合は、「技有」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ④③で同等の場合は、「有効」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ⑤④で同等の場合は、「僅差」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ⑥⑤で同等の場合、リーグ戦では「引き分け」とする。決勝トーナメント戦では、代表戦を行い必ず勝敗を決する。なお、代表戦に出場する選手は、チームの任意により1名を選出する。
 - (5)リーグ戦の順位は次のとおりとする。
 - ①3勝、2勝1分、2勝1敗、1勝2分、1勝1敗1分、1勝2敗、3分、2分け1敗、1分2敗、3敗の順とする。
 - ②①で同等の場合は、リーグ戦を通じて勝者数の多いチームを上位とする。
 - ③②で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくはそれと同等の勝ちによる勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ④③で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ⑤④で同等の場合は、リーグ戦を通じて「有効」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ⑥⑤で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ⑦⑥で同等の場合は、リーグ戦を通じて敗者数の少ないチームを上位とする。
 - ⑧⑦で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる敗者数の少ないチームを上位とする。
 - ⑨⑧で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による敗者数の少ないチームを上位とする。
 - ⑩⑨で同等の場合は、リーグ戦を通じて「有効」による敗者数の少ないチームを上位とする。
 - ⑪⑩で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による敗者数の少ないチームを上位とする。
 - ⑫⑪で同等の場合は、代表戦(1名)による順位決定戦を行なう。なお、代表戦に出場する選手は、チームの任意により1名を選出する。
- 6 競技規則
 - (1)国際柔道連盟審判規定(2025年4月施行)「少年大会申し合わせ事項」及び本大会の申し合わせ事項による。
 - (2)勝敗の判断基準は、団体戦においては、「一本」「技有」「有効」又は「僅差(指導の差2以上)」とする。
 - (3)代表戦の判定基準は団体戦と同様にするが、3分間の本戦で得点差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法について、技による得点がない場合、「指導」差が上回った時点で決する。
 - (4)優劣の成り立ちは以下のとおりとする。
{「一本」=「反則勝ち」>「技有」>「有効」>「僅差」}
 - (5)試合時間は、3分間とし、延長戦は無制限とする。
 - (6)競技規則に、問題が起こったときは、専門委員会で協議する。
 - (7)チーム編成(オーダー)は体重順とし、一番軽い者が先鋒、一番重い者が大将とする。なお、補欠の選手を入れる場合も、体重順になるようにする。(体重が同じ時は、新たに入る者が先鋒に近い方とする)
 - ①試合は、選手5名(女子3名)の対抗戦とする。オーダーの変更は認めない。
 - ②一度退いた選手は、再出場を認めない。
 - ③申し込みの選手が事故のため変更するときは、大会開始前において、チーム代表者の職印を押した届けをもってこれを認める。※補欠選手の補充を行う。
 - (8)柔道衣の色は白色とし帯は白帯と黒帯のみとする。柔道衣・帯については全日本柔道連盟が定める規定とする。

- (9) 柔道衣にゼッケンを着用して試合をする。(学校名・名字入り)
- ① 布地は白色とし、サイズは横30～35cm、縦25～30cmとする。
 - ② 名字(姓)は上側2/3、学校名は下側1/3とする。
 - ③ 書体は太字ゴシック体とする。(明朝または楷書でもよい)
 - ④ 文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。
 - ⑤ 襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
- (10) 女子は、上衣の下の部分に白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。(全日本柔道連盟が定める規定・平成25年4月1日より施行)

7 外部指導者(コーチ)のベンチ入りについて

- (1) 令和7年度福岡県中学校体育連盟外部指導者登録要項により手続き・登録が完了している者。
- (2) コーチのベンチ入りは1校1名(男女出場であっても)とする。ベンチ入りは大会申込者本人に限る。
- (3) 大会本部発行のIDカードは、大会当日に受け取り、大会中は必ず携帯すること。
- (4) 服装は、審判員に準じた服装とし、マナーを守り、良識ある態度で生徒の指導にあたる。
- (5) 監督会議への参加は認めない。監督会議での申し合わせ事項等は、連絡を密に取り内容の周知徹底を各学校の責任において図る。

8 申し合わせ事項

- (1) 計量時に安全マナーチェックを行う。
- (2) Jアラート等警報時は、競技を中断し、行政からの指示に従う。その後、安全が確認できたら競技を再開する。
- (3) AED設置場所は事務室とする。

9 参加資格

筑前地区中学校総合(新人)体育大会参加資格「特別規定」による。

10 表彰

1～3位まで賞状を授与する。県大会については、男女とも4位までが出場資格を得る。

11 申し込み

規定の申し込み用紙に書き込み、チーム代表印を押し、各区専門部長でまとめ、令和7年10月13日(月)までに、下記までFAXにて申し込むこと。また同一文書を直ちに郵送すること。

(〒819-1121) 糸島市萩浦3-4-1 糸島市立前原西中学校内 馬場 海人 宛
TEL 092-322-5321 FAX 092-322-9948

12 専門委員

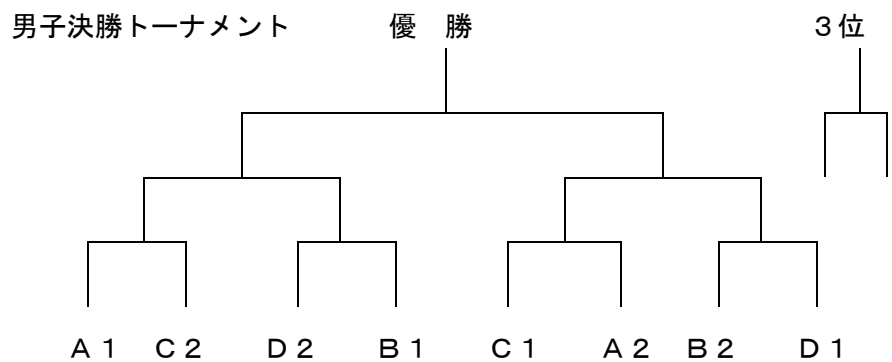
<糟屋> 牧野大空(粕屋東中) <宗像> 木村騰哉(城山中)
<糸島> 馬場海人(前原西中) <筑紫> 西田泰章(平野中)

13 組み合わせ

【団体戦】

男子予選リーグ(女子団体戦は、出場校数の変動があるため、専門部において協議の上決定する。)

Aリーグ	Bリーグ	Cリーグ	Dリーグ
第1試合場	第2試合場	第3試合場	第4試合場
糟屋1位	糸島1位	宗像1位	筑紫1位
筑紫2位	宗像2位	糸島2位	糟屋2位
宗像3位	糟屋3位	筑紫3位	糸島3位
糟屋6位	筑紫4位	糟屋4位	糟屋5位



- 14 その他 主催者が手配した医療関係者が応急処置の実施や医療施設への救急搬送の必要性を判断の上搬送を行い、または行わないことがあるが、これらの処置、判断等について故意または重過失がない限り主催者、医療関係者は責任を負わない。